

各市町村陸協会員 様

一般財団法人新潟陸上競技協会  
会 長 渡 辺 敏 彦  
新潟県高体連陸上競技部  
部 長 本 田 雄 二  
(公印省略)

## 平成26年度 陸上競技指導者研修会 (案内)

- 1 趣 旨 新潟県の陸上競技の普及と競技力の向上を図るため、技術理論と指導方法並びに指導上の諸問題について研修し、指導力の向上に資する。
- 2 主 催 一般財団法人新潟陸上競技協会 新潟県高等学校体育連盟陸上競技部
- 3 実施期日 平成27年2月28日 (土)
- 4 実施場所 デンカビッグスワンスタジアム 運営室4及び室内練習場  
〒950-0933 新潟市中央区清五郎67-12 TEL025-287-8811
- 5 講 師 為末 大 (アスリートソサイエティ代表理事)
- 6 研修内容 午前：講演「陸上競技と私」  
午後：実技「私のスプリント・ハードルの極意」
- 7 日 程 受 付 9:30～9:50  
開 講 式 9:50～10:00  
講 演 10:00～12:00  
昼 食 12:00～13:30  
実 技 13:30～15:30  
質 疑 応 答 15:30～15:50  
閉 講 式 15:50～16:00
- 8 受 講 料 2,000円 (当日徴収)
- 9 申込方法 別紙申込用紙に必要事項を記入し、2月20日 (金) までに FAX またはメールにて送信してください。

《申込先》 県立村上高等学校 井口 智浩

FAX 0254-53-3401

メールアドレス niigatahtf@yahoo.co.jp

<担当>

一般財団法人新潟陸上競技協会  
強化部部長 小 杉 隆  
(新潟県立新潟商業高等学校)  
TEL 025-266-0101

## 氏名 為末 大 (ためすえ だい)

1978年5月3日生まれ。広島市佐伯区出身。400mハードル日本記録保持者で、現在はスポーツコメンテーター・タレント・指導者などで活動中。株式会社 R. project 取締役。

2001年世界陸上エドモントン大会・2005年世界陸上ヘルシンキ大会の男子400mハードルにおいて、2大会連続で銅メダルを獲得。又オリンピックには、2000年シドニー・2004年アテネ・2008年北京と、3大会連続で出場した。

広島市立五日市中学校から広島県立広島皆実高等学校を経て法政大学経済学部卒。大学卒業後、大阪ガスに入社したが退社し、2004年からはアジアパートナーシップファンド(APF)に所属しプロ陸上選手となる。

陸上競技の普及に積極的で、2006年9月にクイズ\$ミリオネアで1000万円を獲得。それを元手に翌年春、東京丸の内東京ストリート陸上をプロデュースした。また「陸上競技の魅力をより多くの人に知ってもらいたい」との思いから、全国各地で様々な種目の選手と共に実演するイベントも企画している。

2008年、北京オリンピックに出場したが、一次予選落ちしたため、去就が注目されていたが、10月1日、「ボロボロになっても、行ける所まで走りたい」として、2012年のロンドンオリンピックを目指して現役を続行することを決めた。

2011年、地元の広島にクラブチーム、「a-meme (エーミーム)」を設立し、所属先も変更になった。

2012年6月2日、ロンドンオリンピック出場の可否に関わらず、今季限りで引退する旨を述べた。同年6月8日、大阪市長居陸上競技場でおこなわれた日本選手権男子400メートル障害予選に出場した為末は、いきなり1台目のハードルを越えられず、右足を引っ掛けて転倒してしまう。完走するも組最下位に終わり、現役引退を表明した。

2012年7月、地方地域の廃校や公共の宿泊施設を活用し、スポーツ合宿を中心とした宿泊事業を展開する株式会社 R. project の取締役就任。そして、現在に至る。

### < 経 歴 >

- 1992年 全日本中学校選手権 2年 100m で7位入賞。
- 1993年 全日本中学校選手権 100m・200m で優勝(11秒08・22秒00)。2冠を達成。国体少年 B200m では第2位(決勝 21秒55、予選では 21秒54の当時日本中学新)。ジュニアオリンピックではさらに日本中学記録(当時)を更新した(21秒36)。また、三種競技 B(現在は廃止)で 3354点(12m68(砲丸投)－6m90(走幅跳)－49秒07(400メートル競走))の日本中学記録保持者でもあり、400メートル競走の 49秒07は実施競技は混成競技ではあったが、この年の中学最高記録でもある。1993年中学ランク1位であった種目は、100m、200m、400m、走幅跳、三種競技 A(10秒7－12m64－1m83)、三種競技 Bの計6種目。
- 1994年 国民体育大会少年 B100m・400m で2冠(10秒74・48秒24)。
- 1996年 インターハイで 400m の日本ジュニア新記録(当時)(46秒27)を樹立して優勝。日本ジュニアでも 400m 優勝。世界ジュニア選手権代表に選出され 400m と 4x400mR に出場。400m でジュニア日本新記録(46秒03)を樹立して4位に入る。マイルでも2走をつとめ3分06秒01のジュニアアジア新記録で準優勝。10月に行われた地元の広島国体で 400m と 400mH でいずれも当時の日本高校新記録・日本ジュニア新記録をマークして優勝。400メートルハードルの 49秒09は日本高校記録・ジュニア記録・当時の世界ジュニア歴代5位であった。
- 1997年 世界室内選手権で 4x400mR に出場。2走で走り、6位入賞に貢献。高校卒業後は法政大学に進学。入学直後の日本学生選手権では 4x400mR の2走を務めて優勝。
- 1998年 日本学生選手権 400mH 優勝(以後3連覇)
- 1999年 ユニバーシアード代表に選出され準決勝進出を果たす。また、日本選手権 400mH では準優勝。
- 2000年 日本学生選手権で 48秒47の日本学生新記録を樹立し、シドニーオリンピック代表に選出される。入賞が期待されたが、予選で先頭を走りながら終盤で強風にあおられて、9台目を引っ掛け転倒してしまい、準決勝進出を逸した(現役時代ハードル競技で転倒したのはこの1戦と、現役最後となる2012年日本選手権の2レースのみである)。日本選手権では2年連続の準優勝。

- 2001年 大学5年生になる。東アジア大会代表に選出され400mHと4×400mR(2走)に出場。マイルで優勝し、400mHでも準優勝を果たす。8月にはカナダ・エドモントンで開かれた世界陸上の400mHに出場。準決勝で48秒10の日本新記録を樹立。決勝ではさらにタイムを縮め、47秒89で日本新記録をマーク。フェリックス・サンチェス(ドミニカ)・F・モーリ(イタリア)に次ぐ3位に入り、五輪・世界選手権を通じて日本人初の短距離種目の銅メダルを獲得する。日本選手権では初優勝を果たす(以後2005年まで5連覇)。
- 2002年 釜山アジア大会では400mH3位。
- 2003年 世界陸上パリ大会に出場。一度は予選落ちした。しかし、準決勝進出者の中から失格者(バーション・ジャクソン)が出たため、繰り上がりで準決勝進出を果たす。しかし、準決勝は組で7着に終わり、決勝進出を逸した。10月に大阪ガスを退社し、プロ選手として独立。
- 2004年 アテネオリンピックに出場。今度は準決勝で48秒46の好タイムで3着に食いこむ。しかし決勝進出は2着以内。しかし、ワールドアスレティックファイナルでは日本人としてトラック種目初出場を果たし6位入賞を果たす。
- 2005年 2月に朝原宣治・伊藤友広らとともにアメリカ合衆国アリゾナ州フラッグスタッフで高地合宿を行う。海外レースで優勝を重ね、好調を維持したまま世界陸上ヘルシンキ大会に臨んだ。豪雨でプログラムが中断および延長された悪条件の決勝レースであったが中盤までトップを走る。終盤でかわされたが48秒10のセカンドベストをマークし銅メダルを獲得した。
- 2006年 400mHを封印しスプリント能力の養成に専念。2007年大阪世界選手権・2008年北京オリンピックに照準を合わせる。5月には200mで、6月には100mで実に10年ぶりの自己新記録をマーク。12月中旬、497日ぶりにハードル練習を行った。
- 2007年 8月25日、2007年世界陸上選手権(大阪)400mHで予選敗退。
- 2008年 日本選手権に出場し、400mHを49秒17で優勝。A標準記録を突破し北京オリンピック代表に選ばれた。
- 2012年 日本選手権に出場し、400mHを57秒64で予選落ち。このレースを最後に、現役引退を表明。

### ＜ ベスト記録の推移 ＞

年	100m	200m	400m	400mH	戦績	
1993	10" 95	21" 36	49" 07		全日中 100m、200m 優勝 ジュニアオリンピック 200m 優勝	
1994	10" 72	21" 82	48 秒 24		国体 100m、400m 優勝	
1995		21" 64	47 秒 79			
1996	10" 62	21" 23	45 秒 94	49 秒 09	インターハイ 400m 優勝 国体 400m、400mH 優勝	世界ジュニア 400m 4位 1600mR 2位
1997						世界室内 1600mR 6位
1998				49 秒 19		
1999				49 秒 12	日本選手権 400mH 2位	ユニバーシアード 400mH 準決勝
2000				48 秒 47	日本選手権 400mH 2位	シドニーオリンピック 400mH 予選
2001			47 秒 17	47 秒 89	日本選手権 400mH 優勝	エドモントン世界選手権 400mH 3位 (日本記録)
2002				48 秒 69	日本選手権 400mH 優勝	アジア大会 400mH 3位
2003				48 秒 94	日本選手権 400mH 優勝	パリ世界選手権 400mH 準決勝
2004				48 秒 46	日本選手権 400mH 優勝	アテネオリンピック 400mH 準決勝
2005				48 秒 10	日本選手権 400mH 優勝	ヘルシンキ世界選手権 400mH 3位
2006	10" 49	20" 97	46 秒 41		日本選手権 400m 準決勝	
2007				48 秒 73	日本選手権 400mH 優勝	大阪世界選手権 400mH 予選
2008				49 秒 17	日本選手権 400mH 優勝	北京オリンピック 400mH 予選
2009						
2010						
2011				49 秒 89		
2012				57 秒 64	日本選手権 400mH 予選 2組 7位	